

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	たけのこクラブ竹下		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	余裕をもった職員配置数による、児童それぞれに合わせた細やかな個別支援を提供しています。	個別活動や集団活動等、児童や状況に応じて適した支援が出来るよう職員配置に工夫を重ねています。	職員の成長やスキルアップをサポートし、より専門性のある支援を提供する為、ミーティングや研修等の指導・教育の取り組みを強化していくことでスタッフの定着率を高め、継続した支援をおこなっていきます。
2	日々の取り組みに関して、SSTや屋外活動、食育等幅広い行事を取り入れ支援に取り組んでいます。	様々な特性を持った児童がそれぞれに活躍し支援を通じて成長できるような多様な活動を提供できるよう心掛けています。	学年ごとに目標を持ち、現在の成長に加え将来を見据えた支援を提供する為に、公共交通機関を利用した乗車訓練や事業所間の交流を兼ねたオンラインでの集団活動など取り組みの幅を広げています。
3	定期的に言語聴覚士を招き、より専門性のある知見からのアドバイスを行う療育会等、保護者も含めた家族への支援も行っています。	療育会による支援の内容や取り組みを施設間でも共有し、議論を通じて更に多様な意見を取り入れている。	療育会での内容や取り組みをケーススタディとする等、職員の成長やスキルアップに繋げるべく研修や勉強会などの取り組みをおこなっている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	たけのこクラブ竹下
------	-----------

公表日 令和8年3月31日

利用児童数 33名

回収数 10名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	スペースも十分にあり活動しやすいと思います。	・エリアを分けて色々な活動に取り組み るようにしている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	90%	0%	0%	10%		・常に配置基準を上回るスタッフ配置を しております。今後も維持していく様、 心がけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		・特性や日々の状況に応じて視覚的に児 童に分かりやすい環境になるよう努め ています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・日々、清掃や消毒等を徹底し安心して 過ごせる環境を継続していきます。
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	行き渋りにも丁寧に対応してもらいま した。	・モニタリング等を通じた支援計画を基 にした専門性のある支援を提供してい ます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・公表している支援プログラムに基づい た幅広い支援を提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	色々な話を聞いて頂きありがとうございます。	・担当者会議やモニタリングにて児童の 現状を把握し課題を分析し情報を共有し 意見をまとめ計画書を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	9%	こどもに合わせて配慮していただきあ りがとうございます。	・公表している支援プログラムを基に、 各児童に合わせた支援内容を設定し、本 人に合わせた支援を提供しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	課題を毎回ちゃんとやってきて少しず づできるようになってきました。	・個別支援計画に沿った支援を行って おります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いろいろ企画していただき、あきずに 通えている。	・特性や年齢、学年が様々である為、個 別での活動プログラムを取り入れていま す。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	30%	20%	10%	40%		・必要に応じて地域と交流する機会を設 けていきたいと思っています。
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%		・契約時丁寧に時間をかけて説明してお ります。質疑応答を行い疑問が残らない ように対応できるよう心がけています。	

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	90%	10%	0%	0%		・個別支援計画の更新ごとに支援内容の丁寧な説明をおこなっております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	60%	0%	0%	40%		・定期的に言語聴覚士も招いた相談会を行い専門的知見からのアドバイスをさせていただきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	0%	送迎時に本人たちの話が聞けて、家では見せない姿を知ることができて嬉しいです。	・送迎時等、保護者様と直接会うタイミングや連絡帳で状況の共有を都度行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	面談も定期的にして頂き相談もしやすいです。	・定期的に言語聴覚士も招いた相談会を行い専門的知見からのアドバイスをさせていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・児童や保護者の思いを傾聴し適切な支援に繋がっています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20%	10%	20%	50%		・どんたくへの出演やバザーの開催等、保護者同士が交流できる催しをおこない、幅広い支援を提供できる環境を整えるよう努めています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	0%	0%	10%	保護者の都合や本人の気持ちや状況に寄り添って頂き、本人も安心して楽しく通所できているのでとても感謝しています。	・申し入れ等があった際は、同じ事象が起きないようにスタッフに周知・共有、対策を話し合い、再発防止に努めております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%		・電話以外に電子メール等での連絡手段を用意しています。保護者へのわかりやすい周知を徹底していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	50%	20%	0%	30%		・毎月行事予定表を配布し告知しております。緊急の事柄についてもプリントを作成し配布しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	90%	0%	0%	10%		・全従業員に周知徹底し、各個人情報の取り扱いをおこなっております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	90%	0%	0%	10%		・避難訓練等定期的に行っております。行事予定表にも記載し、取り組み日をお伝えしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90%	0%	0%	10%		・避難訓練等定期的に行っております。活動内容がわかりやすいように連絡帳・口頭での連絡を強化していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80%	0%	0%	20%		・事故防止、防犯対応等、マニュアルや計画に基づいた支援を徹底すると共に、保護者への周知に努めていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	いつも細やかに対応・報告を入れて下さり、とても感謝しています。	・事故やけが等発生の際は、マニュアルに基づいた対応と共に関係各所への迅速な連絡等を徹底しています。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	毎日楽しそうに通っています。	・安全安心を第一に考えた活動や環境の提供をおこなっていきます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	いつも行くのを楽しみにしています。	・今後も児童が楽しめる活動、環境づくりを行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	色々ご配慮いただき感謝しています。	・お子様の興味関心のある活動を取り入れ満足度を高められるよう努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	たけのこクラブ竹下				公表日	令和8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		・仕切り等も活用し、利用者の特性に合わせた空間を作り、考慮しながら努めている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		・常に配置基準を上回るスタッフ配置をしております。今後も維持していく様、心がけていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		・特性や日々の状況に応じて視覚的に児童に分かりやすい環境になるよう努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%		・日々、清掃や消毒等を徹底し安心して過ごせる環境を継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%		・児童の人数や状況に合わせて個別の部屋や空間を用意し、活動に応じた場所を提供できるよう環境を整えている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		・日々の振り返りや月間でのミーティングを通じてスタッフ全員が業務改善に携われるよう努めている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		・常に情報共有を行い、スタッフ間への周知も徹底して改善に努めている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	月1回のミーティングで把握出来ている。	・日々の振り返りや月間でのミーティングを通じてスタッフ全員が業務改善に携われるよう努めている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%		・月1回の臨床心理士の先生によるアドバイスや意見等頂き日々の業務に努めている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%		・毎月ミーティングを開催し、資質向上に努めている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%		・ホームページにて公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・担当者会議やモニタリングにて児童の現状を把握し課題を分析し情報を共有し意見をまとめ計画書を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		・モニタリングでの意見発信や毎月のミーティングにて支援計画作成の話合いに全スタッフが参画できる体制を整えている。

14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	ノート等でいつでも見られるようにされている。	・個別支援計画の支援内容を周知し、各スタッフが支援計画に沿って支援している。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%		・アセスメント作成の際は、日々の様々な状況や環境等に関しても細かな聞き取りを行っている。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		公表している支援プログラムを基に、各児童に合わせた支援内容を設定し、本人に合わせた支援を提供しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		・スタッフの意見を聞き取り、まとめている。また、毎月のミーティングで話し合いを行っている
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	少しずつ変えようと意識しています。	・児童の特性や年齢に応じて様々な活動が出来るようにしている
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		・子どもの特性と目標に合わせて、個別活動と集団活動を取り入れ作成している
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	ミーティングにてされている。	・申し送り内容も含めて、その日の注意点など、役割の分担等打ち合わせをしている
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	ミーティングにてされている。	・振り返りを行い共有し、次回の療育に繋げるようにしている。また、職員間での日報等も共有している
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	90%	10%		・各児童の過ごし方を連絡帳に記録して共有し、今後の業務改善等に活かしている
23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		・6ヶ月ごとのモニタリングを行い、成長に応じて必要な部分を都度改善している
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	90%	10%		・児童に合わせた活動をおこないながら、ひとつに偏った活動にならないように努めている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%		・自由な活動をできる時間を設ける等、自己決定を育てる支援を取り入れている。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		・児童発達支援管理責任者が必ず参加している
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		・必要に応じて連絡・連携をおこなっている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%		・学校と話し合い、引き渡し場所・方法は明確にしている。また、学校の予定が変更になる事も考慮し、連絡確認を徹底している

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		・相談支援員からの情報共有が必要な場合は関連する施設から情報をいただくよう努めている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%		・必要な児童には、情報共有できる体制を整えている
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		・定期的に言語聴覚士も招いた相談会を行い専門的知見からのアドバイスをさせていただいています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	90%	10%		・必要に応じて地域と交流する機会を設けていきたいと思っています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		・必要に応じて参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳にて日々様子を共有できている。	・送迎時にお伝え・連絡帳への記載・電話など常に共通理解を持てるよう努めている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		・定期的に言語聴覚士も招いた相談会を行い専門的知見からのアドバイスをさせていただいています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		・契約時丁寧に時間をかけて説明しております。質疑応答を行い疑問が残らないように対応するよう心掛けています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		・個別支援計画書作成の際はモニタリングや担当者会議等を通じ様々な状況を確認し、個別の細やかな支援計画を作成している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		・個別支援計画の更新ごとに支援内容の丁寧な説明をおこなっております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		・定期的に言語聴覚士も招いた相談会を行い専門的知見からのアドバイスをさせていただいています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		・定期的に療育会を行い保護者様同士の連携の場を設けていた
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		・迅速かつ適切な対応し改善に努めている
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HP等の発信がなされている為発信されていると思う。	・行事(戸外活動、食育)のお知らせをだしている。毎月の行事予定表を配布している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	メモを工夫している。	・金庫管理・鍵付きロッカー等、情報管理を徹底して行っている

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	ニーズに応じて臨機応変に対応できている。	・分かりやすい方法を常に配慮し丁寧に行っている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%		・どんたくへの出演やバザーの開催等、保護者同士が交流できる催しをおこなっている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		・避難訓練等定期的に行っております。行事予定表にも記載し、取り組み日をお伝えしております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的に訓練を開催されている。	・避難訓練等定期的に行っております。活動内容がわかりやすいように連絡帳・口頭での連絡を強化していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	ノート等に症状などを記してある。	・保護者様からのアセスメントで聞き取り、指示に基づく対応を行っている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		・保護者様からのアセスメントで聞き取り、指示に基づく対応を行っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		・事故防止、防犯対応等、マニュアルや計画に基づいた支援を徹底している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・事故防止、防犯対応等、マニュアルや計画に基づいた支援を徹底すると共に、保護者への周知に努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		・事例があった際は、ミーティング内で取り上げて共有し、再発防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		・毎月のミーティングで話し合い、児童や状況に応じた対応を決めスタッフへの指導・徹底をおこなっている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		・毎月のミーティングで話し合い、児童や状況に応じた対応を決め個別支援計画の支援内容に取り入れている。